

令和7年12月18日(木)に町内会役員を対象とした「令和の町内会講座」を開催しました。講座には23名の方にご参加いただき、町内会の現状と課題や令和の町内会運営のヒントについての講義があったのち、グループに分かれて「若い世代や女性が活躍する町内会へ～多様な方の参画を促すためのアプローチ方法～」をテーマとしたワークショップを行いました。

#### 《開催概要》

日時：令和7年12月18日(木) 10:00～12:30  
場所：宮城野区中央市民センター 参加者：23名  
内容：講義／ワークショップ／発表・まとめ



### ■ 講義

講師の(株)KITABA 酒本宏氏から、若い世代や女性など多様な住民が町内会活動に参加しやすくなるアプローチ方法について効果的な手法や他町内会の事例等を交えた話題提供が行われました。

### ■ ワークショップ

ワークショップでは、5グループに分かれ、年間カレンダーを作成しそれぞれの取組に参加している年代や属性を考え、偏りがないかを確認しました。その後、多様な世代が参加できる取組について意見交換を行いました。※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。

## ワークショップ全体のまとめ

#### ● 多世代が参加しやすいイベントづくりを進める

- ・フリーマーケットやマルシェ、キッチンカーなど、気軽に参加できるイベントを企画する
- ・夏まつり、冬まつり、縁日、ハロウィンなど、季節感のある行事を行う
- ・ゲーム大会やeスポーツ、縁日など、こどもが楽しめる企画を取り入れる
- ・コミュニティカフェやおしゃべりカフェを定期的で開催し、交流の場をつくる

#### ● こども・若い世代との連携を進める

- ・子ども会と町内会が連携したイベントを実施する
- ・中学生・高校生のボランティア参加を促す
- ・こどもが参加することで、親世代の参加につなげる仕組みをつくる

#### ● サポーター制度を活用した運営を進める

- ・イベントの企画や運営を担うサポーター制度を導入する
- ・健康教室やカフェ運営など、役割を限定した関わり方を用意する
- ・最初はサポーターとして参加し、将来的に担い手につなげる

#### ● デジタルツールの活用を進める

- ・LINEを活用した連絡体制を整える
- ・全世帯向けのLINEグループづくりを検討する
- ・高齢者向けにスマートフォン教室を開催する
- ・デジタル化は一度に進めず、段階的に取り組む

## グループごとの意見・アイデア

ワークショップでは、多世代が参加しやすいイベントづくりについて意見が多く出されました。こどもや若い世代が関われる行事をきっかけに、サポーター制度やデジタルツールを活用し、無理なく町内会活動に参加できる仕組みづくりが重要であるとの認識が共有されました。

### グループ1

- ・フリーマーケットやキッチンカーを組み合わせたイベントを行う
- ・ハロウィンや縁日など、こどもが楽しめる行事を企画する
- ・月1回のおしゃべりカフェを開催し、交流の場をつくる

### グループ2

- ・夏まつりや芋煮会など、飲食を伴うイベントを実施する
- ・中学生ボランティアと連携したイベント運営を行う
- ・子ども会と協力し、クリスマス会などの行事を実施する

### グループ3

- ・こどもから高齢者まで参加できる居場所づくりを進める
- ・マルシェやバザーを通じて多世代交流を図る
- ・町内会のデジタル化に向けてスマホ教室を開催する

### グループ4

- ・ハロウィンやマルシェなど、こどもを中心としたイベントを企画する
- ・コミュニティカフェを通じて多世代交流を促進する
- ・デジタル化やスマホ教室に取り組む

### グループ5

- ・夏・秋・冬の季節ごとのイベントを企画し、多くの人に参加できる場をつくる
- ・折り紙教室など、高齢者の得意分野を活かした交流を行う
- ・学生ボランティアと連携し、清掃活動やスマホ教室を実施する

